



お住まいの地域のサービスやプログラムに関する情報および援助に関しては、1(800)510-2020へお問い合わせください。

## 高齢者に役立つ情報

### 高齢者とアルコールに関する事実

#### カリフォルニア州保健医療サービス局の調べによると

- ❖ 2001年における65歳以上のカリフォルニア住民のアルコールを原因とする死者数は、834人に及びました。

#### 米国国立健康研究所の調べによると

- ❖ アメリカの成人の13人に1人はアルコールの問題を抱えているか、アルコール依存症です。
- ❖ 全米におけるアルコール乱用関連費用は、年間で合計1850億ドルに達します。
- ❖ 2000年における医薬品乱用関連費用は、1770億ドルに上昇しました。

#### 米国高齢者協会の調べによると

- ❖ 全国の60歳以上の成人の17%は、アルコールと医薬品を乱用しています。

- ❖ 高齢者におけるアルコール関連の入院率は、心臓発作の入院率と類似しています。
- ❖ 高齢者が服用する処方薬は、処方薬全体の34%を占めています。
- ❖ 高齢者は、治療計画に適切に従う率が高く、治療の成果は低年齢層の子供達と同様か、それ以上です。
- ❖ 「全米アルコール集団検診の日 (National Alcohol Screening Day)」に参加している各団体は、無料で検診を行うほか、危険性のある処方薬やアルコールの乱用の兆候の見分け方や、心身の健康に対する影響に関する情報を提供してくれます。

# 高齢者に役立つ情報

## 高齢者とアルコールに関する事実

### ❖ 薬物乱用対策及び精神衛生サービス局

(SAMHSA)の1998年の調査によると、アルコールは高齢者における以下の健康上悪い問題において重大で、認識されていない要因であることが、判明しています。

- a. 転倒と負傷
- b. 医薬品服用順守の問題
- c. うつ病、不安症、自殺および家庭内暴力のような精神衛生上の問題
- d. 錯乱状態、認知障害、譫妄状態などの精神状態の変化
- e. 高血圧、心臓疾患などの心臓血管疾患
- f. 耐糖能障害などの内分泌性疾患
- g. 乳癌、食道癌、結腸癌
- h. 末梢神経障害、卒中、運動失調、認知症などの神経性の問題
- i. 下痢、失禁、肝不全などの胃腸系問題
- j. アルコールによる疾患は、多くの場合、高齢者における数多い併発疾患の一つです。